

## 第5回トラック輸送における取引環境・労働時間改善石川地方協議会 概要

### 1. 日 時

平成29年7月11日（火） 11：30～12：30

### 2. 場 所

石川県トラック会館 1階 会議室

### 3. 出席者

近 藤 修 司	北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科講師
西 田 哲 次	石川県商工会議所連合会 金沢商工会議所 企業経営アシストセンター長（代理）
橋 本 政 人	一般社団法人石川県経営者協会専務理事（欠席）
中 村 明	石川県中小企業団体中央会専務理事（欠席）
南 英 明	全国農業協同組合連合会石川県本部管理部長
永 井 宏 行	カナカン株式会社物流システム部課長
加 藤 三 明	津田駒工業株式会社社長室長（代理）
杉 浦 直 人	石川県交通運輸産業労働組合協議会副議長
久 安 常 信	一般社団法人石川県トラック協会長
山 田 秀 一	北陸貨物運輸株式会社代表取締役
小 前 田 彰	小前田運輸株式会社取締役会長（欠席）
中 野 廣 志	日本通運株式会社金沢支店支店長
篠 山 賢 一	厚生労働省石川労働局労働基準部長（代理）
林 伸 治	国土交通省北陸信越運輸局自動車交通部長（代理）
（オブザーバー）	
高 橋 信 行	北陸農政局 経営・事業支援部 食品企業課課長補佐
上 田 真	上田運輸株式会社代表取締役

#### 4. 概要

##### 議題

- (1) 平成 28 年度全国パイロット事業実施結果報告について

資料 2 に基づき説明

- (2) 平成 29 年度パイロット事業について

資料 3 に基づき説明

29 年度のパイロット事業については、継続案件として荷主：コマニー(株)、運送事業者：上田運輸(株)が先の協議会で承認をいただいている。今般、荷主：A 社、運送事業者：B 社について承認。石川県地方協議会として 2 件のパイロット事業を取り組む。

- (3) その他

- ・トラック運送業の適正運賃・料金検討会について

資料 4 に基づき説明

- ・荷待ち時間の記録義務づけについて

資料 5 に基づき説明

- ・事務局よりご連絡

次回の協議会開催については、今回の 29 年度パイロット事業の報告について、今年度の第 4 四半期で次の協議会を開催させていただきたいと考えている。しかし、現在もパイロット事業の実施に併せて様々な取組と制度改正が進められており、年度中間にも皆様からのご意見が必要となった場合には開催をお願いする場合もあるかもしれない。日程等については改めてご案内させていただきたい。

なお、午後の部「トラック輸送における取引環境・労働時間改善セミナー」において、「平成 28 年度石川県パイロット事業改善事例」の説明 説明者：ペック協会の講演あり。

資料 6 に基づき説明

#### 5. 主な意見

- ・荷役作業や附帯作業の削減について、IC タグ等 I O T の活用により削減する方向性を将来のビジョンとして考えていくことが必要だと思う。【労働組合】

- ・荷主と事業者が W i n W i n の関係となることが一番重要である。パイロット事業は、取引環境・労働時間の改善を目指しているものであるが、結果として企業の経営力の強化に繋がっていると思う。【荷主】

- ・パイロット事業の改善事例に関し、色々なところに活用・展開していただきたい。【荷主】

- ・業種の特性があり、荷待ち時間の改善は難しい。高速を使用しながらカバーしていくのが一番簡単な方法であるが、これだけでは解決出来ない。また、パレット化による改善については、パレット化すると積載率が落ちてくる。荷主と協議しながらやって

いきたい。【事業者】

・石川県パイロット事業の効果として、トラックが今までよりも1時間程早く戻ってくるようになった。運転者だけではなく、運行管理者の労働時間も改善された。【事業者】